

リーディングDXスクール事業【実践事例】

印西市立いには野小学校（千葉県）【指定校】

【取組内容】 ICT機器を活用した算数科での自己調整学習

取り組みの概要

算数科の面積を求める学習において、自己調整学習と従来の一斉指導を合わせた授業の組み立てを行った。

成果

学習方法の選択や振り返りを1枚のワークシートにまとめることで、児童は学習の流れを理解し、学習方法を自己調整することができた。
ICT機器を使うかノートを使うかを自分で選択させることで、児童が自分に合った方法で学ぶことができた。
ノートを使った児童の考えはICT機器で撮影して提出させた。
教師は、提出されたワークシートを見ることで、児童の考えを集約することができ、1人1人の考えを見たり比較したりすることができた。



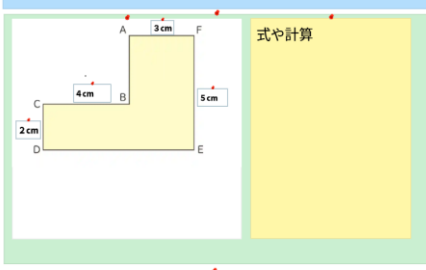
<学習計画表>

月	日	今日の学習内容	面積
月	日	今日の学習内容	面積
どうしよう	どんなふうにとりくみますか？	がくしゅうほうほうをここからえらびます	
	- めあてを知る - 計画を立てる	 	
	- まとめる - ふりかえりをする。	 	
ふりかえりどんなふうにとりくんだか		ふりかえりがくしゅうしたくないよう今日の学習したことがわかりましたか？	
		☐ ☐ ☐	

←

はじめは「1人で学習する」学習方法を選んでいていた児童が、他の児童の考え方に興味を持ち、席を離れて意見を交流している様子。

【学】



【ま】

←

簡潔でまとめやすいワークシートを使った。

→

全体で共有する場面では、比較検討をしやすいように、分け方の異なる3つの図形を大型テレビに並べて映し出した。

